

「いしかわCFP算定モデル」事業 発表セミナー

県内企業の協力で脱炭素活動を推進し、
変動の時代での新しい競争力を身に付ける

石川県 商工労働部 産業政策課

1 背景・概要

- 1-1 「いしかわCFP算定モデル」事業の背景・狙い
- 1-2 「いしかわCFP算定モデル」事業の概要

2 CFP

- 2-1 CFPとは
- 2-2 CFPを軸にしたビジネスの動き
- 2-3 他地域でのCFP算定活動のご紹介 (宝ホールディングス(株) 様)

3 いしかわCFP 算定モデル

- 3-1 「いしかわCFP算定モデル」
- 3-2 「いしかわCFP算定モデル」事業の進め方

4 活動状況

- 4-1 各社の活動報告

5 ご案内

- 5-1 「いしかわCFP算定モデル」事業への参加案内

1 背景・概要

県の産業振興の羅針盤としてR5.9に策定した「石川県産業振興指針」において、**G Xは県内産業の成長のための重要な柱と位置づけ**

石川県産業振興指針

基本理念

新たな時代を捉えてともに**飛躍・成長**する、
石川県の特徴を活かした魅力ある産業づくり

飛躍に向けて

— 成長を牽引する産業のロールモデル（⇒P11） —

グローバル型

高い技術力により世界と伍するグローバルプレイヤーへと成長

サプライチェーン型

産業集積を活かした「石川型のデジタル製造モデル」の実現

地域資源型

唯一無二の地域資源を活かした魅力の最大化と需要の波及

生活インフラ型

デジタル基盤の活用等による社会サービス業の活発化

成長に向けて

— 分野別施策（⇒P12） —

施策1 観光の推進

施策2 GXの推進

施策3 産業を支える人材の確保・育成

施策4 新事業・新産業の創出

施策5 国内外への販路拡大・魅力発信

施策6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化

施策7 企業等の戦略的誘致

石川県産業振興指針（R5.9策定）とGX②



KGIは「県民1人あたりGDP成長率2.2%成長（年平均）」
 →労働生産性のうち「付加価値の向上」に着目。付加価値向上の手段の一つがGX

- 企業や製品のイメージ向上、ブランド力向上
- 再エネ、水素など新たな成長市場への参入
- サプライチェーンから排除されない

県民1人当たりの県内総生産（実質） 年平均2.2%成長

※実質GDP：物価の変動による誤差を除外した、その年に生産された財貨の価格を基としたもの

- 過去10年（H24-R4推計）の平均成長率（0.9%）を大幅に上回る
- 実質GDP年平均2.0%成長に相当（参考：国目標値の「実質GDP2%程度の成長」と同等）

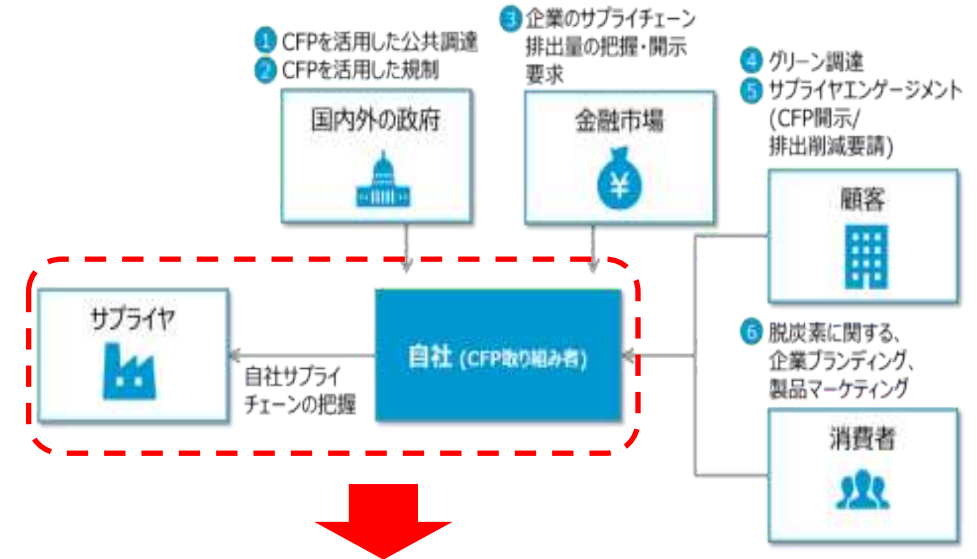
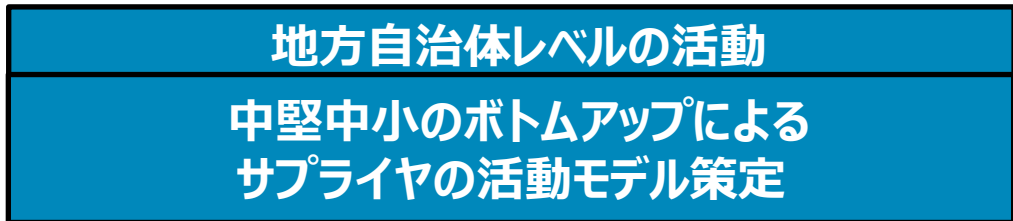
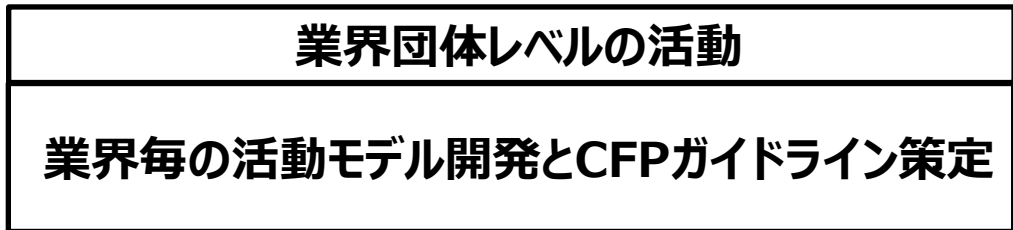
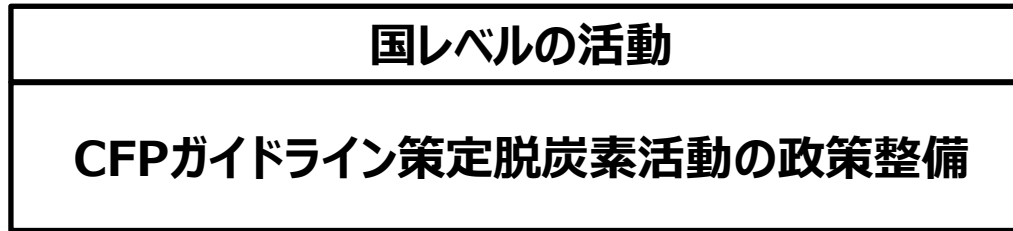


- 環境意識の高まり・脱炭素への対応から、消費者や大手企業では、**売り手・調達先のCO₂排出量削減への対応によって、購買・取引を決定する動き**がみられます。
- その中で、製品・サービス毎のCO₂排出量：**CFP (Carbon Footprint of a Product)** への対応がキーポイントとなります。
- **国の政策としても鋭意、普及を推進しており、業種・業界を問わず、石川県内企業にもCFP算定が求められる動きや可能性**があります。
- このような状況下、各企業がCFPの算定の方法を身に着け、**自社のブランディングや企業連携に活かすことで石川県内企業各社の競争力強化**を図る必要があります。

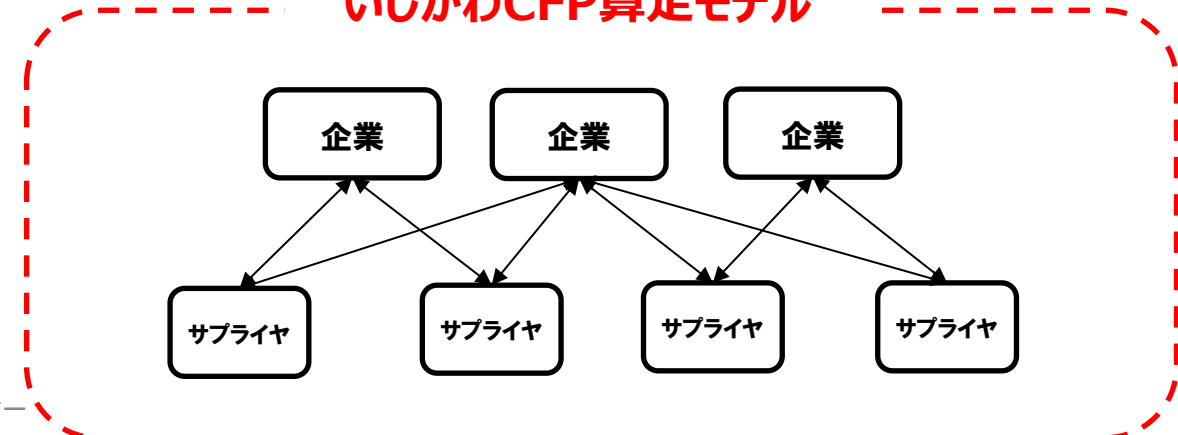
国や業界団体レベルでは対応が進んでいない

→地域レベルでCFP算定を推進しボトムアップでモデルを構築

=いしかわCFP算定モデル



いしかわCFP算定モデル



- 企業がCFPに代表されるCO₂排出量を把握し削減するためには、**企業のサプライチェーンを構成する取引先などの企業を巻き込んだ活動が必要になります。**
- 今回の事業では、**CFP算定に前向きな県内企業（機械、繊維、食品（酒造））をコア**とし、その取引先企業と連携することにより、県内のサプライチェーンにおけるCFP算定を普及させる活動方式「**いしかわCFP算定モデル**」を構築し、これを普及することで県内企業の競争力を強化することを目指します。
- 活動の推進にあたっては、国のCFP算定ガイドラインにも携わった、（一社）グリーンCPS協議会が**ハンズオンで伴走支援**し、各社の活動の成果創出と実効性を高めます。

「いしかわCFP算定モデル」の策定と普及を通じた競争力強化



<背景>

- 環境意識の高まりから、**欧州の企業・消費者を中心に、CFPへの対応によって購買、取引を決定する動き**が見られ、世界的な広がりを見せている
- 今後、**業種、業界に関係なく、県内企業にもCFP算定を求める動きが本格化**する見込み。そのため、**CFPの算定の仕方を身に付け、自社及び自社製品のブランディングや企業連携に活かす**ことで、**県内企業各社の競争力強化を図る**

<事業概要>

- (一社)グリーンCPS協議会がCFP算定に前向きな県内企業(機械、繊維、食品)と連携し、**業界毎のCFP算定モデルを策定し、広く県内企業に周知・普及**

モデルは他企業製品のCFP算定に応用可能

「いしかわCFP算定モデル」の策定と普及を通じた競争力強化



②業種毎の
CFP算定モデルを構築

③県内企業への展開

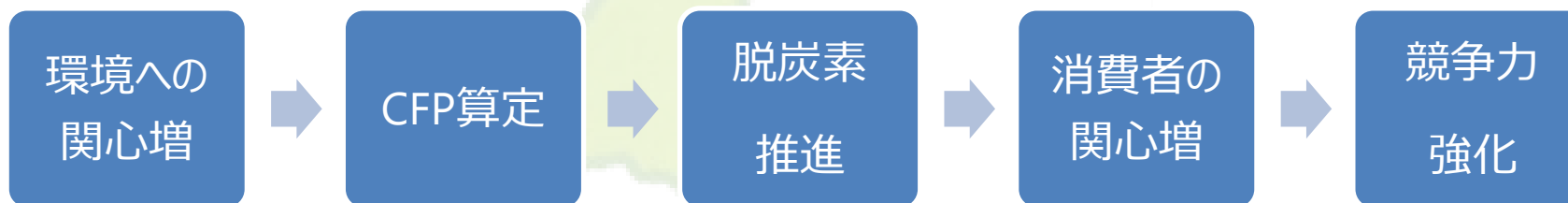
①モデル企業を核とする
サプライチェーンの
CFP算定支援

【ゴール】
GXを通じた県内産業の
付加価値向上と
競争力強化

- 業界ごとのCFP算定モデルを策定
- リスキングを通じた企業の価値づくり
- 地域連携・サプライチェーン連携強化

↓
ひっくるめて「いしかわCFP算定モデル」として発信！

県内企業の相互協力関係の中で脱炭素活動を推進し、
変動の時代での新しい企業競争力を身に着ける。



**CFP算定を真に意義のあるものにするために、
企業連携、サプライチェーン全体で取り組む活動です**